

日本スケート連盟 2021-22 ノービス課題

ISUでは、ISU Communication No.2396にて、Advanced Novices、Intermediate Novice、Basic Noviceの課題を定めているが、日本では、この年代の選手の育成を考え、以下のような独自の課題とする。
 ※本2021-22ノービス課題ルールにおいて、2020-2021シーズンからのルール変更は無い。

1、ノービスA 滑走時間 3分 ±10秒

	男子	女子
ジャンプ 最大 6	第1ジャンプとして、ループ・ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む	
	ダブルアクセルを含む、いかなるダブルジャンプは(単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	トリプルの2種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは2つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン(*1) 最大 3	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	1種類の基本姿勢、足換え無し、着氷後最少6回転	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバック /サイドウエイズ・リーニング または シットまたはキャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、最少6回転(足換えの場合には最少10回転以上)、フライング・スピンと異なる基本姿勢で行なうこと	
スピン・コンビネーション		
フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少10回転		
ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シーケンス	

(*1)ポジションとして認められるには2回転必要

2、ノービスB 滑走時間 2分30秒 ±10秒

	男子	女子
ジャンプ 最大 5	第1＝ジャンプとして、 ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの2種類を含む	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む	
	ダブルアクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	トリプルの2種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは2つまで可能 ジャンプ・コンボのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン(*1) 最大 3	あらゆるタイプのフライング・スピン 1種類の基本姿勢、足換え無し、着氷後最少6回転	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバック /サイドウエイズ・リーニング または シットまたはキャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、 最少6回転(足換えの場合には最少10回転以上)、 フライング・スピンと異なる基本姿勢で行なうこと	
	スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少10回転	
コレオグラフィック・シーケンス	形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOEのみで評価される	
	—	<u>少なくとも1つの</u> 支持なしスパイラルが必要(*2)

(*1)ポジションとして認められるには2回転必要

(*2)スパイラルとは、一方のブレードが氷面に接し、(膝と足の両方を含む)フリー・レッグがヒップより高い姿勢のことである。
(キックではない。ウインドミル(イリュージョン)を除く。エッジは問わない。)

3. 係数、転倒等について

- ・ 転倒の減点 : 0.5/回
- ・ NvAは後半のジャンプ要素の内、最後の2つの要素のBVを1.1倍とする。(NvBは1.1倍のボーナス無し)
- ・ 全プログラムコンポーネントの係数は男子2.0、女子1.6とする。